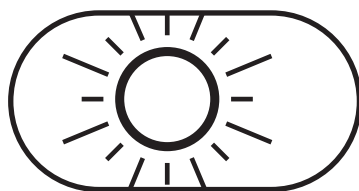


シーズニング需要が拡大

香辛料



はれ

市場全体として拡大基調にある。17年度の家庭用市場を振り返ると、粉体タイプが堅調な動きを示す一方、チューブ入りの粘体タイプが軟調な動きを強いられたが、18年度は粉体、粘体ともに健闘している。粉体では引き続きシーズニングが伸長。メニュー専用タイプを中心にニーズをとらえており、当面は拡大基調で推移する公算が大きい。粘体ではしょうが、にんにくが引き続き伸長。エスビー食品

「きざみ青じそ」が計画を大きく上回る実績を上げるなど、新しい提案による市場の底上げも期待できそうだ。

香辛料の輸入数量推移

